

●今月の『ポピー』の算数で学習するおもな内容と大切なことがらです。

□の数字は、教科書のページ数です。

1年 大きな かず

□ 142~155

- 大きな数**の数え方、書き方、しくみなどがわかるようにします。大きい数を数えるときは、10のまとまりがいくつと、あと1がいくつかを数え、10のまとまりを十の位、1がいくつかを一の位に書きます。大小を比べるときは、まず、十の位から比べるようにしましょう。

10ずつ□で
かこんで、数えよう。



- $35+4$, $67-7$ などの簡単な2けたの数のたし算・ひき算ができるようにします。

2年 九九の 表

□ 56~63

- 九九の表**をつかって、かけ算のきまりについて考えます。

「かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけふえる」「かけられる数とかける数を入れかえても答えは同じ」などのかけ算のきまりを見つけて、かけ算に対する興味をのばしましょう。

また、九九は3年になって習うかけ算の筆算やわり算の基礎になります。九九の表を見て発見したことを何でもお話ししてみましょう。

答えが12になるかけ算を
ぜんぶ見つけてみよう。



3年 小数、2けたの数のかけ算

□ 66~92

- 水のかさを使って、**小数の表し方**を知り、数直線を使って**小数の大小**を比べたり、**小数のたし算**や**ひき算**のしかたを学習したりします。

- (2けたの数)×(2けたの数)**, **(3けたの数)×(2けたの数)**の筆算ができるようにします。

〈ポイント〉 位をたてにそろえて計算する。

〈 24×12 の筆算のしかた〉

$$\begin{array}{r} 24 \\ \times 12 \\ \hline 48 \quad \dots\dots 24 \times 2 = 48 \\ 24 \quad \dots\dots 24 \times 10 = 240 \\ \hline 288 \quad \dots\dots \text{たし算をする。} \\ 48 + 240 = 288 \end{array}$$

12を10と2に
分けて考えるよ。



4年 小数と整数のかけ算、わり算

□ 73~89

- 小数×整数**や、**小数÷整数**の計算を学習します。

〈かけ算〉

$$\begin{array}{r} 1.8 \\ \times 6 \\ \hline \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 1.8 \\ \times 6 \\ \hline 10.8 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 1.8 \\ \times 6 \\ \hline 10.8 \end{array}$$

1.8の8と6をそろえて書く。 整数のかけ算と同じように計算する。 かけられる数にそろえて、積の小数点をうつ。

〈わり算〉

商の小数点を、わられる数の小数点にそろえてうつ。

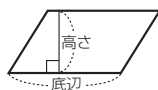
わり算は、わられる数に0をつけたして計算を続けることができるんだよ。



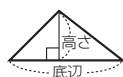
5年 四角形や三角形の面積

□ 198~218

- 平行四辺形**と**三角形**の面積の公式を知り、公式にあてはめて面積が求められるようにします。



平行四辺形の面積＝底辺×高さ



三角形の面積＝底辺×高さ÷2

*ほかに、台形とひし形の面積を求める公式も学習します。



底辺を変えずに、平行四辺形や三角形の高さを2倍、3倍に変えていくと、面積はどう変わっていくか、も考えてみるよ。

6年 並べ方と組み合わせ

□ 180~188

- 並べ方**と**組み合わせ**について学習します。

(例) A, B, Cの3人が並んで座る

並べ方は、6通り。

$$\begin{array}{l} A \begin{cases} B-C \\ C-B \end{cases} \quad B \begin{cases} A-C \\ C-A \end{cases} \quad C \begin{cases} A-B \\ B-A \end{cases} \end{array}$$

(例) 5種類のおにぎりのの中から2種類を選ぶ**組み合わせ**は10通り。

うめ ツナ さけ
たらこ めんたいこ

落ちや重なりがないように数える。

う	ツ	さ	た	め
○	○			
○		○		
○			○	
	○	○		
	○			○
		○	○	
		○		○
			○	○